

# 当院における医療安全管理への取り組み

平成立石病院

南町田病院

猪口 正孝



# 平成立石病院の概要



- 内科・外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科
- 病床数:100→180(改装中で実質127床)  
(H18.12.1)
- 病床稼働率:92.5%→88.6%
- 平均在院日数:13.4日
- 平均外来患者数:281名
- 平均救急患者数:292名/月
- 職員数:(医師21.5名、看護師79.7名)
- 7:1入院基本料→10:1(H18。12.1)

•H18.10 病院機能評価機構 受審

病院の特性:救急・急性期中心の地域医療

地域の特性:戦前からの古い住宅、町工場。

住民の気質:下町で物分りが良く、気風がいい。



# 南町田病院の概要



- 病床数:180(実質130床)
  - 病床稼働率:86.1%
  - 平均在院日数:17.6日
  - 平均外来患者数:269人
  - 平均救急患者数:312人
  - 職員数:(医師20人、看護師88.9)
  - 7:1入院基本料
- H19.11 病院機能評価機構 受審予定

病院の特性:救急・急性期中心の地域医療

地域の特性:都心近郊の新興住宅地。

住民の気質:納得するまで説明を求める。





# 医療安全管理委員会の構成

	平成立石病院	南町田病院
委員長	副院長	副院長
副委員長	規定なし	規定なし
院長	参加	参加
医師	2	2
看護師	10	6
薬剤師	1	1
放射線技師	1	1
臨床検査技師	1	1
ME	0	1
リハビリ療法士	1	1
管理栄養士	1	1
事務	2	2
合計	19名	16名



# 平成立石病院 医療安全委員会 の活動内容 1

1. 2002年4月：開院と同時に医療安全委員会設置。
2. 以後毎月1回委員会開催。
3. 安全管理のための指針を整備。
4. 医療事故等の院内報告制度を整備  
インシデント・アクシデントの報告書を毎月集計。
5. 11月24日から30日までを医療安全週間とする。
6. 安全管理研修会の開催。年2回。
7. 2006年6月安全管理マニュアルの全面改正。



# 南町田病院 医療安全委員会の 活動内容 1

## I 医療安全委員会の役割

### 1. 委員会の開催および活動の記録

- ・委員会は原則として月1回定例会を開催するほか必要に応じて委員長が開催する。
- ・委員会開催後速やかに議事録を作成し、2年間これを保管する。

### 2. 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的として改善方策

### 3. 安全管理のためのマニュアル整備

### 4. 医療安全管理のための研修



# 南町田病院 医療安全委員会の 活動内容 2

## II 活動の実際

1. 委員会の開催 第1回 H16.11.2より毎月1回開催。  
議事録は院内に掲示し、同時に各安全委員が保管。  
内容を各部署職員へ伝達。

### 1) 委員会での主な決定事項

- ①情報開示(カルテ開示)の手順・・・H16年12月
- ②個人情報取り扱い方・・・H17年3月
- ③高気圧酸素療法業務の取り決め・・・H17年11月
- ④緊急コールの手順・内容見直しと周知徹底・・・H18年4月
- ⑤患者認証のためのリストバンド導入・・・H18年6月



2. インシデント・アクシデント内容別集計

1) 年度別集計

南町田病院 医療安全委員会の活動内容 3



	H16.10-12	H17.1-12	H18.1-12	H19.1
影響レベル0	3	10	46	8
影響レベル1～4	33	100	98	6
指示出し			5	
情報伝達			13	
情報管理			2	
処方・与薬	15	18	9	3
点滴	8	29	23	2
輸血		3	3	
手術		2	2	
麻酔				1
留置針・カテ管理	7	29		1
誤飲・誤嚥	3	2		
排泄			1	
その他療養上の世話			9	
内視鏡検査				1
内視鏡以外の検査	4	8	18	1
給食・栄養		5	7	
患者・家族への説明				2
放射線管理			3	
設備・施設			3	
医療機器管理	4	1	4	1
針刺し		1	3	
転倒・転落	8	58	44	3
その他	3	9	9	
合計(件)	37	159	174	14
上記のうち患者誤認	0	6	9	1

# 南町田病院 医療安全委員会の 活動内容 4

## 2) 報告書から分かったこと

・患者誤認の件数増加 …

①患者をフルネームで呼ぶあるいは名乗らせる職員が少ない。

②伝票と照らし合わせることが徹底されていない。

③ベッドネームに頼っている…認知症患者への認識が薄い

→ リストバンド導入、認証ポスターの掲示

・危険度「0レベル」の報告数を上げよう。

・集計・分析しづらい用紙であったため、H18.7月より様式を変更した



# 南町田病院 医療安全委員会の 活動内容 5

3. マニュアル整備  
看護手順の見直し

4. 講習会開催

全職員対象

第1回 リスクマネジメント講習会「最近の傾向」 H17.7/14(木)17:30より

第2回 リスクマネジメント講習会「造影剤」 H17.10/27(木)18:00 より

一部対象

看護部伝達講習会「看護に役立つリスクマネジメント」H17.8/4 14:00より



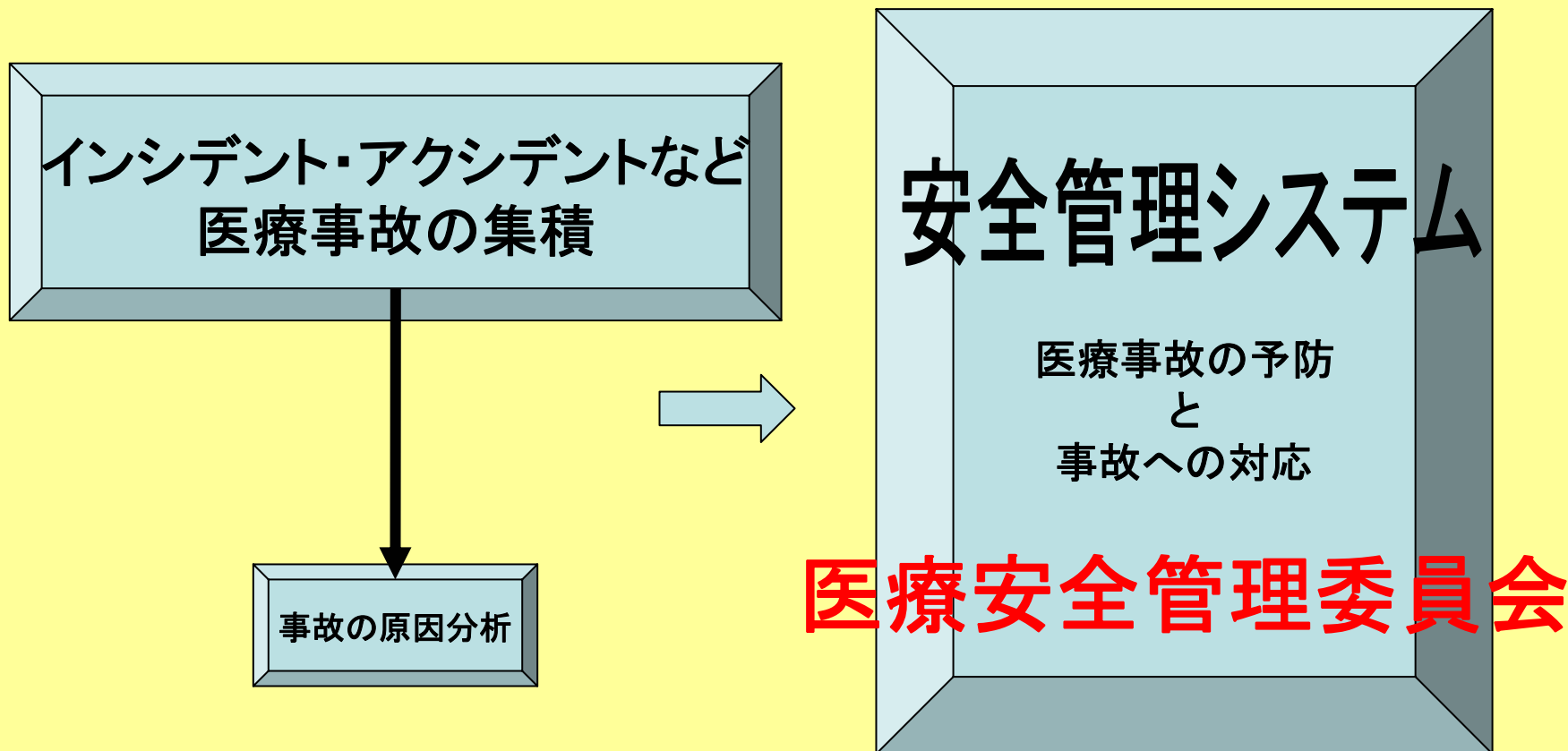
# 南町田病院 医療安全委員会の 活動内容 6

## 5. 情報提供・啓発

- 1) 医療安全情報発信 No.1「重量オーバーによるベッド破壊」H18.10.20
- 2) 東京都医療安全推進事業のインシデント・アクシデント報告内容と  
評議委員のコメントを抜粋し、職員へ回覧 H18.7月
- 3) 認証行動3原則ポスター 作成・掲示 H18.10月  
『フルネームで確認する』  
『指で差して確認する』  
『声に出して読み上げる』



# 今までの病院における 医療安全活動

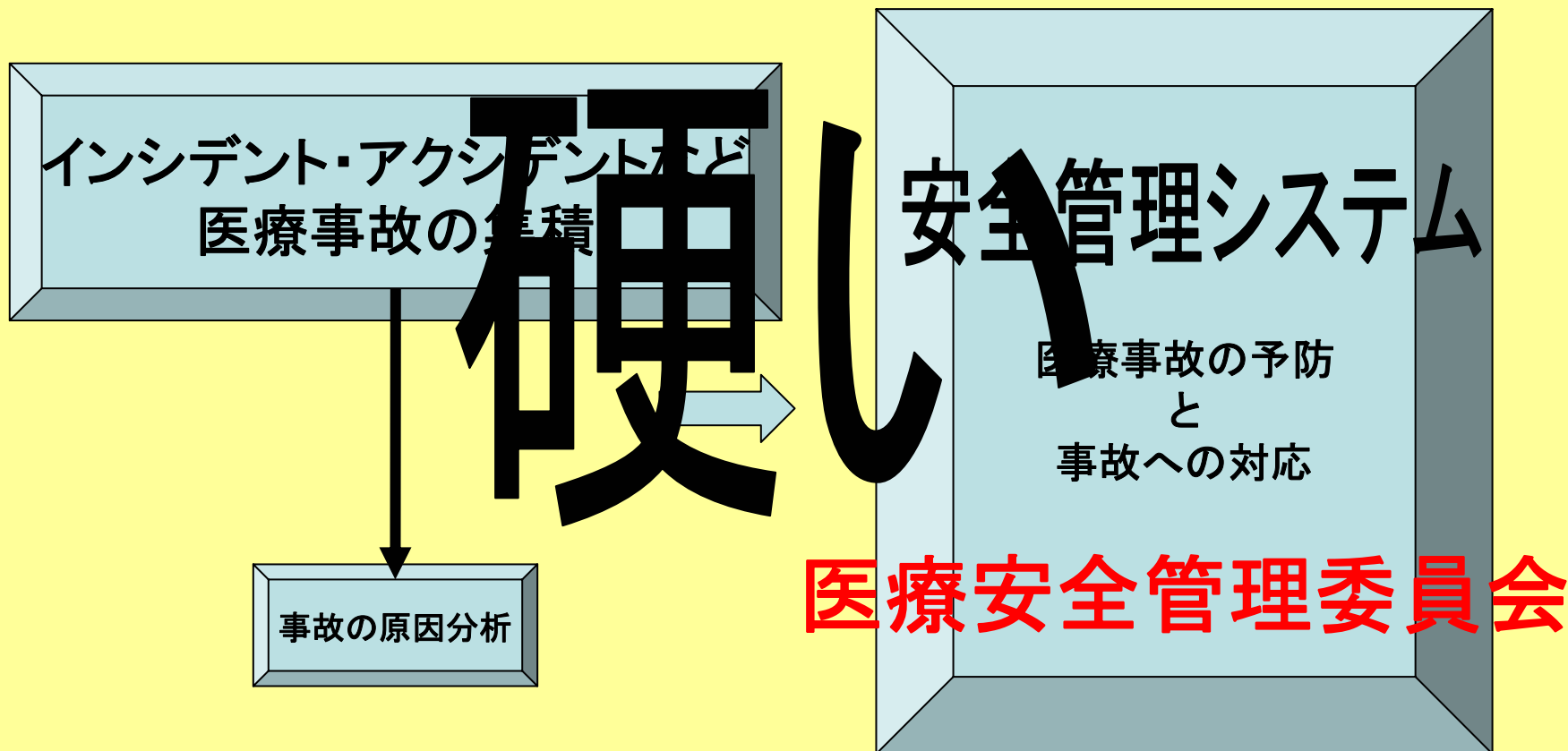


# 課題・印象

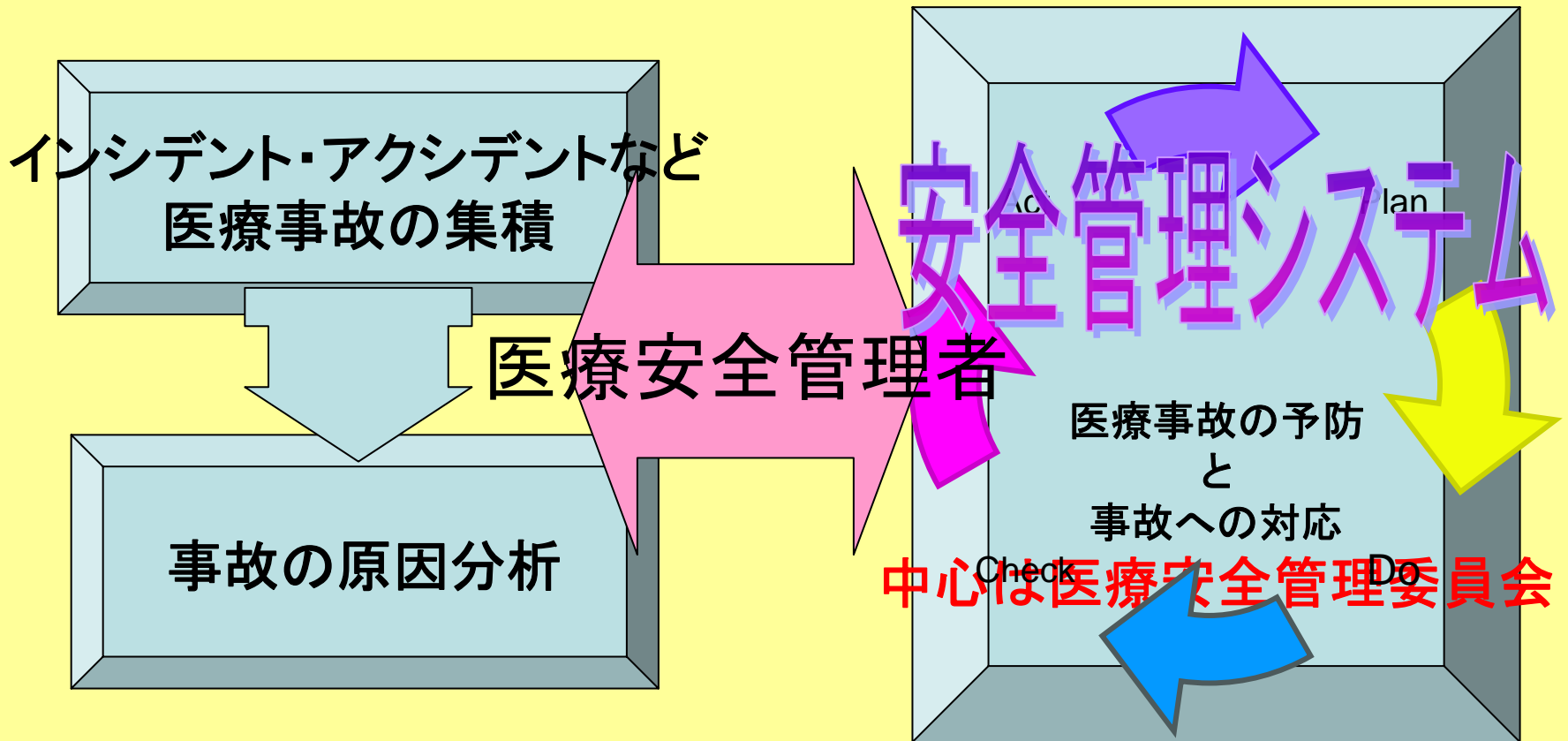
- 医師の参加が少ない。特にインシデント・アクシデントのレポートを書かない。
- 委員会での決定事項が徹底されない。
- スタッフ間のコミュニケーションが不足している。
- 時間が無い。業務量が多い。人員不足。
- 安全文化確立までは程遠い印象がある。
- 医療安全管理委員会のみが活動している。
- 電子カルテシステムの理解度に問題がある。



# 今までの病院における 医療安全活動



# これからの医療安全活動の 概念図



# 医療安全管理者に求められること

- 医師の参加が少ない。特にインシデント・アクシデントのレポートを書かない。  
→分析を行い有用性を周知せしめる。医師に積極的に働きかける。
- 委員会での決定事項が徹底されない。→院内に周知徹底。
- スタッフ間のコミュニケーションが不足している。→各部署の間に入り潤滑油となる。
- 時間が無い。業務量が多い。人員不足。→忍耐強さ。業務のスピード。
- 安全文化確立までは程遠い印象がある。→忍耐。前向きの性格。
- 医療安全管理委員会のみが活動している。→コミュニケーション能力
- 電子カルテシステムの理解度に問題がある。→ITに対する理解力



# 経営者から見た医療安全管理者像

- 明晰な分析力
- 卓越したコミュニケーション能力
- 並外れた忍耐力
- 圧力に屈しない正義感

- ..
- ..
- 

看護師長並み  
の人材



# 経営者から見た課題

- 医療安全管理者の絶対数の不足。1病院に一人ではなく、1、2病棟に1人ぐらい必要なのでは。
- 医療安全管理者の独立性の確保。
- 安全を確保するための看護師確保は至難の業。
- 医療安全に対する社会的評価と診療報酬の向上。
- ..

